

東京理科大学共催

日本微生物資源学会第28回大会

プログラム・要旨集

## プログラム・要旨集目次

- |                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 1. 大会日程一覧                   | p2  |
| 2. シンポジウム・年会参加者、講演者、発表者の皆様へ | p3  |
| 3. 会場等案内図                   | p5  |
| 4. プログラム(詳細)                | p6  |
| 5. 講演・発表要旨                  | p11 |

## 大会日程一覧

7月1日(金)	「公益財団法人発酵研究所 学会・研究部会助成 シンポジウム」	
9:00~9:30	受付	7号館6階ホワイエ
9:30~12:00	I. 持続可能な微生物分類を目指して	講堂
12:00~13:30	昼休み	
13:30~16:00	II. SDGs 達成のための微生物の役割	講堂
7月2日(土)	日本微生物資源学会第28回大会	
9:30~9:55	受付	ホワイエ
9:55~10:00	開会挨拶	講堂
10:00~11:00	一般講演(口頭)4題	
11:00~12:00	一般講演(口頭)4題	
12:10~14:30	昼休みおよびポスターセッション	7号館6階ホワイエ
(13:10より質疑応答)		
14:30~15:30	招待講演	講堂
15:30~16:00	休憩および受賞者の発表 (一般講演・ポスター)	
16:00~17:00	総会	講堂
7月3日(日)		
9:30~10:00	受付	7号館6階ホワイエ
10:00~12:00	実務ワークショップ 「微生物コレクションを守る！」	講堂

## シンポジウム・年会参加者、講演者、発表者の皆様へ

会 期：2022年7月1日（金）～ 3日（日）  
会 場：東京理科大学 野田キャンパス 7号館6階

大会事務局：〒278-8510千葉県野田市山崎2641  
東京理科大学薬学部薬学科生命情報科学研究室  
Tel：04-7121-3630 e-mail：[28jsmrs@rs.tus.ac.jp](mailto:28jsmrs@rs.tus.ac.jp)

参加費： 正会員：5,000円 非会員：7,000円 学生：1,000円  
※ 事前の銀行振込領収限定です。会場でのお支払いは対応いたしかねます。

会場案内：[https://www.tus.ac.jp/access/noda\\_campus/](https://www.tus.ac.jp/access/noda_campus/)  
千葉県野田市山崎2641 東武野田線（アーバンパークライン）運河駅より徒歩5分

受付：受付は期間中毎日開始時間の30分前から7号館6階講堂ホワイエにて行います。ネームプレート、領収書、お弁当引き換え券をお受け取りください。クロークの準備はございません。会場内での貴重品などの保管に各自ご留意をお願いします。

会場内 Wi-Fi 接続：Wi-fi 接続用の ID とパスワードを用意します。

昼食：キャンパス内にセブンイレブン1店、大学生協店1店、ならびに金曜日のみ昼食提供のキッチンカーが出店します、お時間に余裕を持ってご利用ください。事前にお弁当を予約された方は、当日に引換券をお渡しします。講堂内は飲食不可です。会場内の休憩室をご利用ください。なお、本学の感染症対策のため、外部の方の学生食堂、1階のカフェテリアの利用はできません。

### 発表要領：

- 1) 口頭発表(シンポジウムを含む)の演者は、以下の方法で発表できます。
  - 1-2) 会場にご出席の場合  
ご自身の PC を用いる場合は、会場で、Zoom アクセスしていただき、発表資料を共有できます。  
ご自身の PC で発表される場合で、会場での Zoom アクセスをされない場合は、会場のスクリーンに表示される発表資料を会場のカメラで撮りながらのライブ中継となります。スライド等の発表資料を USB で持参された場合は、演台に設置している事務局の PC を経由して発表ください。  
なお、会場での PC の接続には、HDMI 及び VGA の接続端子が利用できます。  
一般口頭発表の発表時間は、発表 12 分、質疑応答 3 分を予定しています。
  - 1-2) リモートでご出席の場合  
当日の Zoom アドレスにログインして発表していただきます。
- 2) ポスター発表の発表要領は以下となります。  
会場のポスターボードにポスターを掲示（7月1日午後～7月2日）してください。  
ポスター発表時間（7月2日 13:10-14:30）となりましたら、Zoom にログインして、ブレイクアウトルームにポスターの pdf 版を共有してください。会場での発表及び Zoom での発表の時間配分は特に決めていませんが、おおよそ、前半は会場、後半は

Zoom 対応としてください。会場で Zoom ログインされない場合は、事務局で pdf 版のポスターをブレイクアウトルームに掲示します。

2-3) リモートによるポスター発表

Zoom にログインしてください。ブレイクアウトルームに自動的に移動するように設定します。pdf 版やパワーポイント等をお使いいただき、発表してください。会場のポスターボードには、「本ポスターは Zoom 発表のみ」と掲示します。

**オンラインでの聴講：**

7月1日のシンポジウムは無料のため、事前登録無しに、以下の URL から Zoom にてオンライン聴講が可能です。

<https://tus-ac-jp.zoom.us/j/98562161762?pwd=b044NURxdmxrNVVmYkhuL05yeU5aZz09>

meeting ID: 985 6216 1762

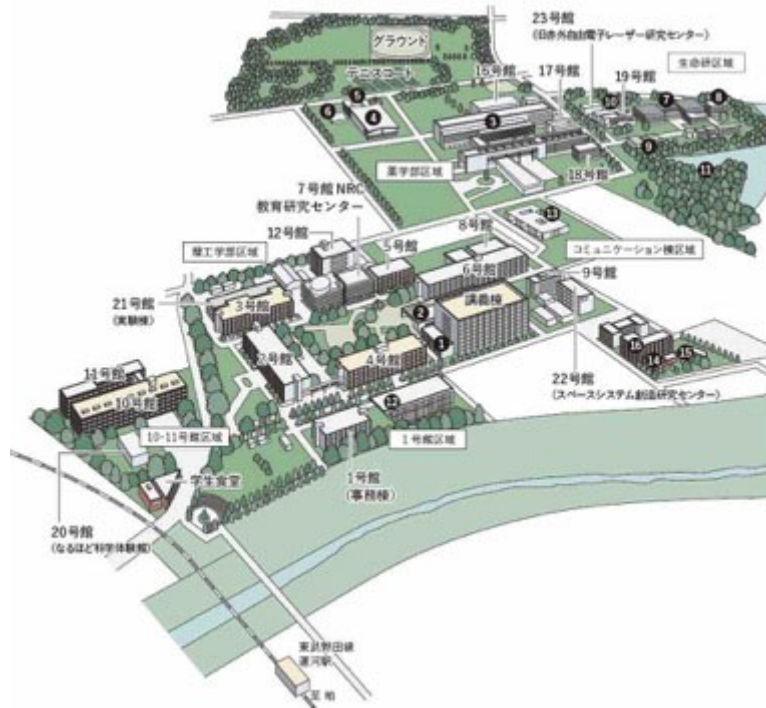
passcord: 811736

7月2日～3日の一般口頭発表・ポスター発表、実務者ワークショップでは、Zoom でのオンライン発表のみのもも予定されています。これらのリモート聴講は、事前登録されたメールアドレスに返信された URL から Zoom での聴講となります。

**ポスター賞・ベストプレゼンテーション賞：**

最も優れた口頭発表1題とポスター発表2題を選考委員会で選定し、優秀賞を表彰します。

## 会場等案内図



## 7号館6階見取り図



## プログラム（詳細）

7月1日【公益財団法人発酵研究所 学会・研究部会助成シンポジウム】

### 講堂

#### I. 持続可能な微生物分類を目指して（9：30～12：00）

- S-1. 多相分類学(polyphasic taxonomy) ゲノム分類学と表現性状の調和  
鈴木健一郎 東京農業大学 座長：高島昌子・鈴木 誠 p12
- S-2. Bioprospection of Saccharomyces native yeasts from andean Patagonia and taxonomical implications.  
Diego Libkind Instituto Andino Patagónico de Tecnologías Biológicas y Geoambientales (IPATEC,) 座長：高島昌子・鈴木 誠 p13
- S-3. アーキアの発見から SeqCode に至るまで  
布浦拓郎 海洋研究開発機構 座長：飯野隆夫 p14
- S-4. どのように菌類の分類学を学んだか？  
渡辺京子 玉川大学 座長：乙黒美彩 p15
- 総合討論 1

#### II. SDGs 達成のための微生物の役割（13：30～16：00）

- S-5. 腸内細菌叢を活用した新たな医療・ヘルスケア産業の創出  
福田真嗣 慶應義塾大学 座長：乙黒美彩 p16
- S-6. ウシのゲップのメタンを減らして地球温暖化を防ぐ  
西田武弘 帯広畜産大学 座長：石田達也 p17
- S-7. 気候変動と樹木の衰退枯死に関わる菌類  
升屋勇人 森林総合研究所 座長：矢口貴志 p18
- S-8. 『藻類の研究開発』で、人々と地球の未来に貢献する。－「微細藻類」の社会実装における現状と今後の展望－  
竹下 毅（株）アルガルバイオ 座長：河地正伸 p19
- 総合討論 2

終わりの挨拶（15時50分～） 会長 大熊盛也

7月2日 【一般講演】 (10:00~12:00) 講堂

- O-1 (10:00~10:15)  
比較ゲノムによる *Stenotrophomonas maltophilia* の再分類  
小川泰地 東京農業大学 生命科学研究科 分子微生物学専攻  
座長 飯野隆夫  
p21
- O-2 (10:15~10:30)  
The Family Schizosaccharomycetaceae に関する分類学的一考察 / The revision of Schizosaccharomycetaceae  
山田雄三 静岡大学農学部 (名誉教授)  
座長 飯野隆夫  
p22
- O-3 (10:30~10:45)  
国内産の *Aspergillus viridinutans* species complex の薬剤耐性解析  
日高仁晴 千葉大学大学院医学薬学府医科学専攻微生物資源分野バイオリソース管理室  
座長 高島昌子  
p23
- O-4 (10:45~11:00)  
テルビナフィン耐性を有する白癬菌臨床株の探索とその耐性機序の解明  
森雄吾 千葉大学真菌医学研究センター バイオリソース管理室  
座長 高島昌子  
p24
- O-5 (11:00~11:15)  
モンゴルのゴビ砂漠から単離した微細藻類の系統分類  
豊島 拓樹 東京農業大学生命科学部分子微生物学科  
座長 河地正伸  
p25
- O-6 (11:15~11:30)  
氷雪性緑藻 *Chloromonas* sp. 八甲田山産株およびその近縁株の種分類学的研究  
松崎 令 国立環境研究所生物多様性領域  
座長 豊島拓樹  
p26
- O-7 (11:30~11:45)  
多細胞性ボルボックス類 (緑藻) の凍結保存株の確立  
野崎久義 東京大学大学院理学系研究科/国立環境研究所生物多様性領域  
座長 豊島拓樹  
p27
- O-8 (11:45~12:00)  
淡水性羽状目珪藻2種のモデル生物としての可能性  
鈴木重勝 国立環境研究所 座長 豊島拓樹  
p28



【ポスター発表】 12:10~14:30 (質疑応答 13:10-14:30)

一般発表

- P-1 提供可能な JCM 株の一覧表のオンライン公開  
○加藤真悟、鈴木幸二、大熊盛也 理化学研究所バイオリソース研究センター・微生物材料開発室 (JCM) p29
- P-2 ヒト腸内細菌叢研究のためのバイオリソース整備に向けて  
○久富敦、大熊盛也、坂本光央 理化学研究所・バイオリソース研究センター微生物材料開発室 p30
- P-3 *Aspergillus tubingensis* における有機酸輸送系が表現型に及ぼす影響  
○谷道琢朗、吉岡 育哲、伴 さやか、矢口 貴志 千葉大学 真菌医学研究センター p31
- P-4 農業生物資源ジーンバンク植物病原細菌リソースにおける AHL 介在型 QS 機構の分布  
○染谷信孝 (農研機構植防研)、澤田宏之 (農研機構遺伝資源)、諸星知広 (宇大工) p32
- P-5 産業上有用な微細藻類の簡易凍結保存方法  
○山崎秀幸、石村善登、原島梨奈、佐藤真則、稲葉重樹 製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター生物資源利用促進課 p33
- P-6 *Sulfolobales* 目に属する新規好熱好酸性アーキア HS-7 株の多相分類学的解析  
○酒井博之、面川博美、加藤真悟、伊藤隆、大熊盛也、黒沢則夫 創価大学 理工学部 共生創造理工学科 p34
- P-7 単細胞紅藻由来のクエン酸シンターゼに対するアデニンヌクレオチドの影響  
○西井麻貴、小山内崇 明治大学大学院農学研究科農芸化学専攻環境バイオテクノロジー研究室 p35
- P-8 好気条件下での硝酸還元により鉄腐食を引き起こす新種 '*Iodidimonas denitrificans*'  
○飯野隆夫 (理研 BRC-JCM)、天知誠吾 (千葉大)、大熊盛也 (理研 BRC-JCM) p36
- P-9 エタノール添加による *Euglena gracilis* 細胞の沈降の変化  
○高橋 優、島本 航輔、小山内 崇 明治大学大学院農学研究科農芸化学専攻 p37
- P-10 始原的 *Synechococcus* シアノバクテリアの比較ゲノム解析  
○河野恵美 (東京都立大学), Joval N. Martinez (University of St. La Salle), 佐藤剛 (神奈川大学), 春田伸 (東京都立大学) p38
- P-11 日本産黒色酵母類の種分布の研究  
○橋本陽・大熊盛也 (理研 BRC-JCM) p39
- P-12 遺伝子オンロジーを用いた発現量変動遺伝子解析法の比較と考察  
○上野恵治、中野義雄、宮崎 智 東京理科大学薬学研究科 p40

P-13

スキンケアによる皮膚常在菌への影響について

○柴田未央、中野義雄、宮崎 智 東京理科大学薬学部薬学科 宮崎研究室

p41

## カルチャーコレクション活動

Q-14 NIES 藻類コレクションの2021年度活動報告

○森史（国立環境研），石本美和（国立環境研），大田修平（国立環境研），松崎令（国立環境研），ノエル マリーエレン（国立環境研），佐藤真由美（国立環境研），湯本康盛（地球・人間環境フォーラム），野崎久義（東京大/国立環境研），山口晴代（国立環境研），河地正伸（国立環境研）

p42

Q-15 農業生物資源ジーンバンク事業の微生物部門（MAFF）における2021年の活動と成果

○永井利郎 1, 佐藤 衛 1, 一木（植原）珠樹 1, 鬼頭英樹 1, 遠野雅徳 1, 埋橋志穂美 1, 山崎福容 1, 月居佳史 2, 中島比呂美 1, 永井みどり 1, 大橋美保 1, 青木孝之 1, 澤田宏之 1, 川口健太郎 1 (1 農研機構遺伝資源研究センター・2 農研機構植物防疫研究部門)

p43

Q-16 理研 JCM の2021年度活動報告

○清水美智留、飯野隆夫、押田祐美、森下羊子、坂本光央、伊藤隆、加藤真悟、遠藤力也、岡田元、橋本陽、飯田敏也、鈴幸二、岩城志乃、大熊盛也

p44

Q-17 NBRC カルチャーコレクション 2021年度事業報告

○宮崎勇磨，田村朋彦，崎山弥生，荒川貴行，西村智朗，大澤健一，加藤久美子，小林美穂，鈴木絹枝，西村美恵子，新田伸一，中川恭好，木下浩，加藤慎一郎

p45

Q-18 2021年度のFMRC活動報告について

○早乙女梢，中桐 昭，遠藤直樹，一柳 剛，上田祥子（鳥大農）

p46

Q-19 病原真菌・放線菌のIFM：過去5年間（NBRP 第四期2017～2021）の総括

○伴さやか，伊藤純子，樋口芳緒美，甲田暁子，矢口貴志 千葉大学真菌医学研究センター

p47

Q-20 2021年度NRIC活動報告

○田中尚人 東京農業大学

p48

## 【招待講演】（14：30～15：30）講堂

I-1 新型コロナウイルス：薬学的観点からの最近のレビュー

野口 耕司 東京理科大学薬学部薬学科感染分子標的学研究室 座長 宮崎 智

p49

I-2 熱帯感染症リーシュマニア症と天然資源からの治療薬探索

安元 加奈未 東京理科大学薬学部薬学科 天然物化学研究室 座長 宮崎 智

p50

7月3日【実務ワークショップ】微生物コレクションを守る！

座長 森 史 (10:00~12:00)

W-1 (10:00~10:30)

コレクション経営の将来像：サブスク利用など  
伴さやか 千葉大学真菌医学研究センター

W-2 (10:35~11:15)

日本全国にある押し葉標本の保全上の課題と、災害時の相互救援について  
鈴木まほろ 岩手県博物館

W-3 (11:20~11:50)

NBRC コレクションのバックアップ体制とこれまでの経験  
安海明百 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) 東北支所

総合討論 (11:50~12:00)